



飛 驒 通 信

岐阜県立飛驒高山高等学校
通信制課程

〒506-0052
岐阜県高山市下岡本町 2000 番地30
TEL&FAX (0577) 32-6013

令和3年3月発行
第188号(通算853号)



これからをどう生きるか

校長 河渡 正史

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、保護者の皆様には、これまで本校の教育活動に格別なる御支援を賜りましたことに感謝いたしますとともに、今日を迎えられたお喜びを心よりお祝い申し上げます。

卒業生の皆さんは、卒業を迎えてどのような想いを胸にしているのでしょうか。通信制課程で学ぶひとり一人は、学びたい内容や適した学びの速度、学びの期間もそれぞれです。そして、通信制での「自分に必要なことを自分のペースで学ぶ」という学びは、自由であると同時に、強い決意と学ぶ意志を必要とする厳しい学び方です。特に、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、世界中の活動が制限されるという状況下での学校生活でした。日本中が心待ちにしていたオリンピック・パラリンピックは延期となり、本校でも、長期間に渡る休校や度重なる日程変更など、予定通り進められないことが多くありました。そのような中、皆さんも心が折れそうになったこともあったでしょう。そのたびに、くじけず、あきらめず、歩み続けて、卒業の日を迎えたことは皆さんの努力の賜（たまもの）です。乗り越えた苦しかった日々を今後も自信としてください。そして同時に、常に皆さんを温かく見守ってくださったご家族や、厳しくも慈しみに満ちた熱心な指導をしてくださった先生方、そしてクラスメイトの支えがあったことにも思いをめぐらせて欲しいと思います。

さて、これからの時代、情報化はますます加速し、コロナ禍により社会の在り方も大きく変わっていくでしょう。そんな激動の時代に門出を迎える皆さんへ、文豪「夏目漱石」の『牛になること』という遺訓を贈ります。『牛になることは、どうしても必要です。吾々はとかく馬になりたがるが、牛には中々なり切れないです…』

馬のイメージは「俊敏に、優雅に突き進む」、対する牛は「焦らず、どっしり構え、根気よく」でしょうか。とかく若者は、早く成功しようと焦りがちですが、着実に進む「牛」の歩みが時に重要です。この遺訓の「どっしり構え、根気強く自分がやるべきことを考え行動する牛の歩み」に通じる、これまで皆さんが培ってきた「生きる力」をもって、試練を乗り越えてくれると信じています。皆さんが激動の時代を乗り越え、活躍することを願って、贈る言葉とします。



**「卒業おめでとう！」****4A担任 英語 長尾 彰**

レポートを添削しながら「どうしてここができないの？」などと思い、教室では間違っていると「そうかあ？どうしてそうなるの？」などと言ったりして、内心「もっとしっかりしてよ！」と思うことがよくありました。しかし、「卒業に寄せて」に書かれた文章を読むと、みんなそれぞれに思いやストレスがあってそれを乗り越えてきたのだなあ、しっかり成長したなあという何かにじんんとするものを感じました。通信制は決して甘く卒業できるわけではありません。それは皆さんがよく知っているところです。そこを卒業できるということはかなりの努力が必要です。ですから、卒業する皆さんには「よくやった！おめでとう！」の言葉と大きな拍手を送りたいと思います。自分に自信を持って前進してってください。

**真田 武**

通信制に入学してから4年が経ち、ついに卒業することになりました。たった4年間でしたが、この間に思っていた以上に多くのことを経験できました。レポートなどを自学自習でやらなければいけないことには慣れないこともあり1年次には大変迷惑をかけてしまいました。しかし、周りから支えられながらですが、確実に成長できたと実感しています。この通信制で学ぶことができて良かったと思います。この経験を自信として、これから先につなげていこうと思います。

**高山 蓮**

最初は長く感じた4年間でしたが意外とすぐに終わりの時を迎えてしまいました。今までの4年を振り返ってみると、私は色々な人に助けられてきました。特に先生方や両親に支えていただきました。改めて感謝の言葉を述べたいと思います。ありがとうございました。最後になりますが、これからは一人の社会人として人のため、そしてここまで育てていただいた両親のために精一杯生きて行きたいと思っています。

**谷本 大知**

3年間ありがとうございました。多くの先生方に支えていただき、卒業まで到達することができました。本当に感謝しています。通信制で身につけたこと、経験したことを活かし、これからも頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。

**豊島 美嶺**

4年前、中学校を卒業してすぐにこの通信制に入学して、初めは通い続けられるのか不安でしたが、本当にあっという間の4年間でした。学校に行くのが苦手だった私ですが、親切で優しい先生方やクラスメイトのお陰で、一度も苦痛を感じることなく通うことができました。通信制の穏やかな雰囲気がとても好きでした。これからも自分なりに頑張っていきたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。

**山腰 陽平**

あっという間の4年間でした。私は、入学した4月は、1日もスクーリングに行くことができませんでした。5月になって水曜スクーリングに行くことができ、2年生からは日曜スクーリングに休まず出席することができるようになりました。レポート提出や試験はとても大変でしたが頑張ったりすることができました。自分の自信となりました。この経験をこれから活かしていきたいと思っています。

卒業によせて

東 魁成

思春期という多感な時期に大きな失敗をし、周りから奇異の目で見られ不登校になった。何とか戻ろうとして本通信制に転入した。なるべくおかしい行動をしないように努めたが、それでも先生方には迷惑をかけたのだと思う。卒業したら私もこの社会の荒波に揉まれるので、社会の縮図とも言えるこの通信制で得た経験を糧にして「邁進」していこうと思う。

**新井 萌花**

卒業を目指して、分からない所は教科書を参考にしたり先生に聞いたりしてレポートを作成しスクーリングに出席しました。これまでに学んできたことをこれからの生活に活かせるようにし、新たに学ぶことも加えていろいろ頑張りたいと考えています。通信制での勉強は大変でしたが、この経験を忘れずにこれからの生活に役立てていきます。

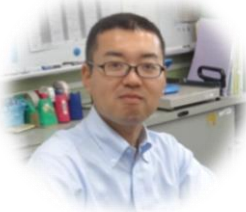
**石原 健二**

通信制に入学して、最初は簡単だろうと考えていましたがレポート作成等かなり難しく結果的に単位が取れず次の学年に上がれないこともありました。アルバイトやこの2年間はほぼ正社員のような勤務時間の仕事で勉強との両立が大変でした。諦めずに取り組み卒業となりました。通信制で学んだ知識はいつか役に立つと思います。

最後に、6年間お世話になった先生方、ありがとうございました。

これから生きる君たちへ

3A担任 理科 森 憲二



真面目な諸君らのことだ。予想できない今後の社会について考え、不安な思いを抱えているに違いない。そこで、こんな話をしてみる。

先生が小学生の頃は、家にパソコンがないことも珍しくなかった。スマホやタブレットを皆が持ち歩き、それらがインターネットを介してつながる今の世の中

を想像できた人はどれだけいただろう。今は百科事典に載っていないことも、ネットで調べれば様々な知見を得ることができる。家から一歩も出ずにモノを買うこともできるし、フリマアプリで売ることだってできる。

今の自分が当時の子供を脅すとすれば、どんな言葉を使うだろう。「君らが大人になる頃には、今のスマホ以上の性能をもつ端末を使ったサービスが次々と生まれる！モノの売買も情報のやり取りもこの端末を介して行われるようになる！これらを使う力を身に付けなければとても困ったことになる！」

少しは安心できたでしょうか？卒業おめでとう。色々便利になるこれからを、どうか楽しく、幸せに生きて欲しい。

新井 峻介



期待と不安を胸に入学した4月から、3年が経ちました。思い返すとあっという間の3年間でした。期限に間に合うように必死にレポートに取り組んだこと、スクーリングで友達と笑ったこと、行事でクラスメイトと協力し、励まし合い、喜びを分かち合ったこと、どれも良い思い出です。4月から通信制大学

に入学しますが、ここで得たものは必ず大学生生活で助けになると思っています。実りある充実した高校生活でした。ありがとうございました。

稲越 正良



工業高校から通信制に転入して、とても短かった2年間の学校生活でした。印象に残ったことはレポートの提出で、今まで体験したことのないシステムで新鮮な気持ちがありました。

今年の秋に3DCGの専門学校に進学する予定ですが、夢を実現するには今の自分では足りないものが多いと思うので、今年の抱負「初志貫徹」で成長していきたいです。2年間、本当にありがとうございました。

岩島 涼介



通信制で2年間生活をして、とても温かいところだなあと感じました。転入してきた時は、これからやっていけるのかという不安で一杯だったのですが、とても楽しく卒業を迎えることができました。いろいろな人に迷惑をかけたかもしれませんが、本当に良い経験ができたと思います。卒業してからも通信制で学んだことを忘れずに生活していきたいです。2年間、本当にありがとうございました。



加藤 佑基

全日制から転籍をして通信制に來ましたが、驚きの連続でした。登校は一日や二日で良く、自分のペースで勉強ができるので、その他の予定が組みやすかったり、新しいことにチャレンジしたりすることができました。自分の

将来の夢も通信制の生活の中で見つけることができたので、すごく良かったです。僕は、周りの同い年より1年、高校卒業が遅いのですが、この1年間でしか味わえない貴重な体験をすることができました。後悔はしていません。



川原 すみか

私は、卒業したら社会人としてしっかりとした大人になりたいです。人から頼られるような自分になりたいです。この学校に通うようになってから、仕事や自主学習をすることで、自分のペースでやるということを学び、充

実した毎日をご過ごせました。今までの学校生活で学んできたことは、社会人になってからも活かせることが多くあると思うので、学んだことを大切に、しっかりと社会人になれるようにがんばります。



土屋 彩音

2年生で全日制高校を辞めて、3年生で通信制にやってきました。今まで一番良い経験をしました。環境に合わせる事が苦しかったけど、ここに来て初めて自分の意思で生きている気がしました。まだまだ弱くて、折れ

そうになったり自分を見失いそうになったりする毎日ですが、「自分」を決めるのは全部私です。今気持ちよく息ができるのは、転学を支え続けてくれた両親、今年度、私と出会ってくれた皆のおかげです。死ぬまで後悔しない人生にします。



二山 叶

今年の4月に入学してから、違う環境での勉強に慣れることができるか少し心配だったり、新型コロナウイルスの影響で突然授業がなくなる等、入学当初から不安が度々付いて回ったりしていましたが、レポートの提出期

限を守ることやテストまでに学習に励むこと、その他にも自分なりに今できること、新しい挑戦をすることに重きを置いて生活しました。これから臨機応変に事態に対応して、前進していくことをやめずに努力していきます。



松波 太基

私にとってこの1年間は、とても重要なものでした。去年の4月に転入させてもらいました。初めは不安で仕方ありませんでした。しかし、時間が経つにつれて話しかけてくれる友達が増えました。次第に不安がなくなり、学

校へ行くことへの楽しみの方が多くなりました。楽しいからか、あっという間の1年間でした。いつも明るく活気のある3年A組からいつも笑顔をもらいました。卒業は悲しいですが、次の目標に向けて前へ進みます。



間所 樹飛

卒業するにあたり自分が思っていることは、はっきり言って特に何もないというのが、自分の思いです。学校に来て勉強することから、会社などに行って仕事をするに変わるだけだし、生きているだけでメンドクセーは変わらないと思っているので、卒業したらどうこう、卒業までにどうこうということは一つとして思い浮かばないし、これまで通りの自分らしく生きて行こうと思います。



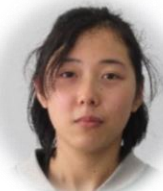
光本 拓巳

通信制の3年間は、まあ楽しかった。レポートは期限までにちゃんと出して、テストも毎回合格したので、最低限のことはできたと思う。通信制で学んだことが、これからの生活でどう活かされるかは全くピンとこないけど、新生活は今までの環境とがらっと変わるので、今まで以上に気を引き締めて頑張っていきたいなあと思っています。



安江 果南

通信制での2年間の高校生活では、自分で学習する力を身に付け、学校とアルバイトの両立ができたと思います。レポートやテストを何回もやり直していた時は、正直卒業できるか不安でしたが、先生方の支えもあり頑張ることができました。卒業して一人で生きていく中で不安や苦しいことがあっても、通信制で身に付けことを活かして挫けず頑張っていきたいです。



村田 音羽

私は、通信制へ4年間通い、コミュニケーションのスキル等が上達したと思いました。入学したての私は暗く、挨拶などの声も小さかったし、授業の発言なども一切何もありませんでした。それなのに、今の自分が大きな声を出したり発言したりすることができるようになったのは、会社の方々との交流、通信制の方々との交流のおかげです。この4年間、長いようで短く多くの成長と経験をしてきました。これからも成長していきます。今までありがとうございました。



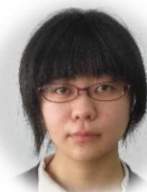
山田 理香子

私は、通信制に入学してたくさんのことを学ぶことができました。レポートでの学習では、大変なこともありましたが、自分で考える力が身に付いたと思っています。行事では、仲間とたくさんコミュニケーションを取ることができ、楽しかったです。その中で、仲間と協働することの大切さを学ぶことができました。卒業してからも、通信制で学んだことを大切にして頑張っていきたいです。



森田 彩詩

卒業を控えたこの年に、社会情勢は感染症の流行によって大きく変化しました。去年までは当然だった事ができなくなり、思いがけない一年になりましたが、自粛を求められる生活の中でも日々の学習や労働に真摯に取り組んで、自分のできることに向き合って生活できました。このような社会の中からこそ学べたことを大切にして、来年からも続いていく変化した社会での生活の糧にしていきたいです。



山本 結子

私は2年前に通信制に転入してきました。通信制は全日制とは違い、スクーリング日数が少なく、提出期限のあるレポートがあり、慣れるのに少し時間がかかりました。通信制は全日制よりも自由な時間がたくさんあったため、自分のやりたいことや進路についてしっかりと考えて自分を見つめ直すことができました。通信制に転入し普通の人とは違う経験ができて、視野が広がりました。2年間ありがとうございました。

表彰及び代表

全国高等学校通信制教育研究会表彰

会長賞 3 A 新井 峻允

全国高等学校校定時制通信制教育振興会表彰

修学優秀者 3 A 山田 理香子

生徒会活動功労者 4 A 真田 武

岐阜県高等学校校定時制通信制教育振興会表彰

皆勤賞 3 A 新井 峻允

3 A 山田 理香子

岐阜県産業教育振興会表彰

会長賞 3 A 加藤 佑基

岐阜県立飛驒高山高等学校通信制特別表彰

特別賞 4 A 山腰 陽平

卒業生答辞 3 A 村田 音羽

在校生送辞 2 A 下田 怜花

同窓会記念品受領者 4 A 豊島 美領

生徒会記念品受領者 3 A 森田 彩詩

贈る言葉

卒業・自立・主体性



副校長 大野 貴司

ご卒業おめでとうございます。今日みなさんは、世界に一つだけの卒業証書を手にされました。卒業証書に書かれている自分の名前をもう一度読み上げ、自分で自分に卒業証書を授与してください。数々のレポート、スクーリング、テストといった厳し

い条件をクリアしたことを思い出し、卒業までの苦労や思い出を添えて読み直します。そして、校長名を自分の名前に置き換え、これまで頑張ってきた自分を褒めて卒業証書を閉じます。

これからの人生をよりよく生きるために必ず意識してほしいことがあります。それは、「ひと・もの・こと」と関わる時、「外からの刺激に左右される「反応的」な生き方ではなく、自分の内面・本当の思いを大切に「主体的」な生き方をしてほしい」ということです。みなさんが通信制での学びを通して身に付けた「自立」。自立は主体的に生きるための基礎を成すものです。どうか自信を持って、自らの手で自分の未来を創造してください。

信頼できる人



教頭 高野 圭

卒業生の皆さん、ご家族の皆様、ご卒業おめでとうございます。最も難しい学びの方法を選択し、完遂された努力と成長に心からの称賛の言葉を贈ります。

社会で求められる最も重要な資質は「契約を守る力」です。時間、内容、数量・・・多くの条件全てに不足なく応えられる人材だけが「信頼できる人」として認められるのです。そのためにも、適切な目標と計画を立て、ミスがないかを確認しながら、何度も見直して必要とされる内容を満たし、期限を守る姿勢が必要です。そう、皆さんの通信制での学びそのものです。

難しい課題に直面した時、皆さんは自らの力で乗り越え、内容を充足させて期限内にレポートを提出しました。スクーリングを活用して必要とされる知識を補い、確実に向上してきました。そうして身につけてきた「契約を守る力」が、皆さんを周囲に「信頼できる人」と認めさせることでしょう。通信制での学びの日々を自信にして進んでいってください。

人間の真価



国語 石地 志奈子

「やりたいこと」と「やらなきゃいけないこと」は、同じではない

「やらなきゃいけないこと」をやったとき、人は成長できる 植木 等

やりたいことだけやって人生を全うできる人はごく一部である。大半の人の前には、「やらなきゃいけないこと」の壁が立ちはだかる。そこで逃げるか、立ち向かうか、人間の真価が問われる瞬間である。

立ち向かうと決心しても、うまくいかないことも多い。心ない言葉に心が引き裂かれる思いにもなるだろう。この苦しいときにどれだけ踏ん張れるかが、人間の幅を広げる。

「完璧でなくていい、少しずつ前へ進め！」

振り返って自分の真価を自分で問うときが必ずくる。そのとき、薄っぺらい、つまらない人間だと思いたくないのなら、やらなきゃいけないことから逃げないでいこう。

自分の力を信じて！

国語 鍋山 大輔



ご卒業おめでとうございます。皆さんが自学自習を進めていく姿を一年間見せていただきました。ほんの短い間でしたが、自分の学習のスピードや教科への理解度、アルバイトとの調整など、自分のできる方法を見つけ

ながら学習を進める姿に驚かされました。何事も、周りの協力があつたとしても、最後は自分の力で解決をしていく必要があります。皆さんは、この通信制で過ごした日々を通して、自身を見つめる視点と自分なりの取り組み方を見つけています。これからは、様々な人と接する中で、自分の方法が社会で通用するものであるか否かを判断しながら、目標に向かって取り組んでください。時には、立ち止まることもあると思いますが、自分を見つめる力をもっている皆さんはまた歩き出すことができると思います。応援しています。

誠実は力なり

地歴・公民 三尾 雅之



ご卒業おめでとうございます。通信制の生徒目標「勉強と仕事を両立させながら、年齢や環境の異なる仲間と共に学び、十分な学力を身につけて、将来社会に貢献できる人材となる。」とありますが、皆さんは

この目標を達成されたことと思います。卒業後は新しい環境に慣れることが、大変だと思いますが、飛驒高山高校で学んだ経験を糧に困難も乗り越えられると思います。贈る言葉としては、私が卒業の時にいただいたこの言葉を贈りたいと思います。「誠実は力なり」何事にも誠実に取り組めば、さらなる成長と幸福が待っていることでしょう。

ご健闘を祈ります。お元気で。

卒業おめでとう！

公民 岩田 英男



ご卒業おめでとうございます。たいへんなこともあったと思いますが、最後まで一步一步確実に歩み続けたことを誇りにしてほしいと思います。

私は高校卒業後に大学へ進みましたが、大学では自分で時間割りを考えたり、計画的に学習したりすることにとっても苦労しました。そんな私から見て、皆さんの自学自習を積み重ねる姿は本当に素晴らしいです。自学自習は本当に皆さんの強みです。どんな進路先でも、能動的に学ぶ姿勢は大切なので、その強みを活かしていきましょう。

どうかこれからも、一人一人のペースは違うと思いますが、体に気を付けて、自分の信じる道を歩み続けてほしいと思います。

これから社会に出る皆さんへ

数学 小森 啓司

卒業おめでとうございます。

皆さんが通信制で学ぶ中で身に付けた力はいろいろあると思いますが、一番大きい力は「自学自習」だと思います。計画的にレポートに取り組むこと、レポートを中心にテスト勉強すること。大変だったことはいろいろあると思いますが、みなさんはどれも大切なことに取り組んできて、できるようになりました。今までは、レポートやテストといった、学ぶべき内容が明確な中で自学自習をしてきましたが、社会に出るとそのようなものはありません。自ら課題を探して、その答えを探す、場合によっては課題設定からやり直す必要があるかもしれません。しかし、自学自習の力を身に付けた皆さんならきっと、そんな中でも継続して学び続けることができると思います。頑張ってください。応援しています。

卒業に寄せて

保健体育 三嶋 誠一

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

通信制は、服装・頭髪・アルバイト・免許取得など自由度が高いと思います。

一方で、「自学自習」教科書や学習書を見て自分で学習の計画を立て、それに沿って進めていく。レポートは仕事で忙しくても、遊びたくても期限までに提出しなければなりません。さらにその後のテストにも合格しなければなりません。疲れていても、部屋から出たくなくても、スクーリングに出席しなければなりません。それぞれが自覚と責任を持って、自己管理をしていかなくてはなりません。

社会に出ると、やるべきこと・やらなければならないことが今よりたくさんあると思います。でも、君たちならしっかりと対応できると思います。頑張って、いろんな事に挑戦してみてください、必ず乗り越えられると思います。心から応援しています。

卒業おめでとうございます

書道 船坂 久美子

通信制での学びが、どれ程自分に厳しく、前向きに計画的で有らねばならないか、本年度初めて通信制を経験させて頂いてよくわかりました。晴れて手にした卒業証書は間違いなく金メダルですね。立派です。通信制での

学びを成し遂げた自分に誇りを持ってください。さて卒業は新しいスタート、新たな学びの始まりです。仕事のため、さらなるスキルアップのため、人生を楽しむため、等々、さまざまな学びがあらゆる場面であなただけを待っています。目の前の学びのチャンスを逃さないで、無駄にしないで、貪欲に学んでください。学びの努力が『自信』になりますから。

通信制で頑張ったあなたなら出来ます！応援しています！

祝 卒業

家庭科 中垣 陽子

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」

日本三大随筆の一つ「方丈記」の冒頭の一文です。「この世に常なるものはない」と、覚

悟を決めて生きる方が、まわりの動向や他人の思惑に左右される事なく、心穏やかに生きる事ができる、「すべては移り変わる」という覚悟さえ持っていれば、ささいな事に一喜一憂せず、心に余裕をもって生きていける、これまでとは違った角度から社会を見つめる事ができると。

世界中が深い闇の中にいた一年でしたが、その中で巣立っていく皆さんは希望の光です。変わらないものは家族。大きな愛情で支えられた事に感謝し、素敵な人生を歩んで下さい。卒業おめでとうございます。新しい世界へ行ってらっしゃい！

エールを送り続けます

商業 板屋 光彦

昨年、古関裕而を主人公のモデルにした「エール」がNHKの朝ドラとして放映されました。彼は、夏の甲子園大会でお馴染みの「栄冠は君に輝く」などを作った著名な作曲家です。本校の校歌(後半部分)は、

県下の高校で唯一彼によって作曲されたものです。

このドラマの中で、小学校の先生が「人よりほんの少し努力することが辛くなくて、ほんの少し簡単にできること、それがお前の得意なものだ」と教え諭した場面がとても印象的でした。私は、人は皆それぞれ得意なものを持ち合わせていると信じています。皆さんも、自分の得意な分野で、自身の持つ力を十二分に発揮してもらいたいと思っています。

今後も新しいステージでの皆さんの活躍に「エール」を送り続けます。ご卒業おめでとうございます。

今を生きる

養護 元田 朋代

ご卒業おめでとうございます。

皆さんの様子を見ていて『過去を悔やまず(反省は大事だと思います)未来を恐れず、今を生きる』こんな言葉が浮かんできました。

不登校で家にいた日々を振り返って、「親から見るとグータラしているように見えても、頭の中は嵐だったんですね。」と言った人がいました。いろんな思いでいっぱい隙間のない頭の中を解消するためにも、今やるべきこと・今やりたいことに向き合って、身体を動かしてみてください。一歩踏み出したときに、頭の中にも、嵐ではなくそよ風が吹いてくるかもしれません。